騒音低減効果

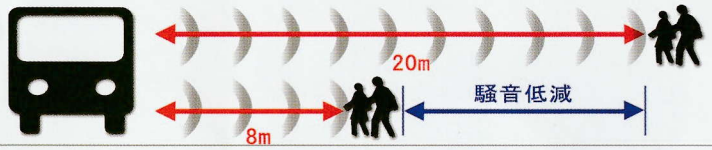
市電通過時における騒音を低減する効果が実証されました。

市電軌道敷の緑化整備は、ヒートアイランド現象の緩和だけではなく、都市景観の向上（集客効果）・下水道負荷の軽減など、多方面において都市環境を向上させる効果が期待されています。

この多様な効果の中で、市電車両走行中の沿線の騒音を低減させる効果が実証されました。

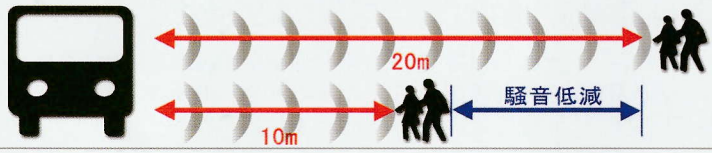
シラスの多孔性機能と芝生との組み合わせによる吸音効果により、電車通過時の最大の騒音レベルは、4dB低減され、電車走行による1日平均の騒音レベルは、3dB低減されました。

最大の騒音レベルは、4dB低減されました



4dB低減とは、
軌道から20m離れていた地点で聞こえていた音が、8mまで近寄らないと聞こえないほど低減したことに相当します。

1日平均の騒音レベルは、3dB低減されました



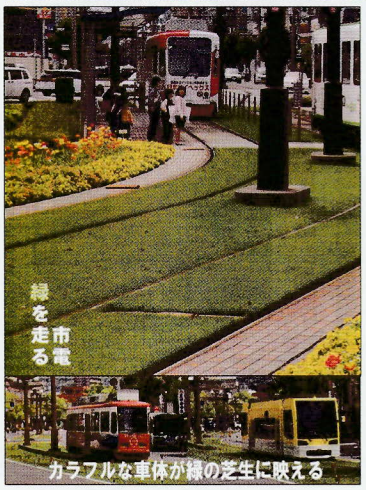
3dB低減とは、
軌道から20m離れていた地点で聞こえていた音が、10mまで近寄らないと聞こえないほど低減したことに相当します。

シラス緑化システム・新聞記事

読売新聞第一面（2007年3月30日）
「芝生走る路面電車」

讀賣新聞
2007年(平成19年) 3月30日 金曜日
年金支給漏れ 6年で21万8000件
短期の加入歴見
社保庁資料判明
芝生走る 路面電車
鹿児島市、軌道を緑化

週刊新潮（2008年6月5日 21号）
緑を走る市電



南日本新聞第一面（2007年10月26日）
「芝生の新芽が目立ち始めている」

天文館貫く緑の帯
おはら祭に新たな彩り
市電軌道敷 芝生化進む

平成20年度全国発明表彰（The Invention 2008 No.8）
第1表彰区分 発明賞受賞（社団法人発明協会）

新都市 表紙（2008年2月）
（財団法人　都市計画協会）